

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	情報処理演習 I	
担当教員の実務経験		
対象学生	保育・福祉・心理学科 保育コース1年	
授業時間数・単位数	30 コマ	2 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	初心者を対象にインターネットでの情報収集、電子メールでの文書作成や、表計算での定量的な処理などを学び、演習を主体に学修していく。	
授業の到達目標	コンピュータの基礎、情報モラルを学び、コンピュータの基本的操作を身につける。文書作成、表計算ソフトを使うことで作業効率をアップできるようになることを目標とする。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	太田宗雄、他『コンピュータ入門』共立出版。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
「コンピュータとは何か、仕組み、基本的な操作、歴史等について」 コンピュータの発達の歴史・機能等について理解を深める。		1
「インターネットの歴史、サービスについて」 インターネットはどのようにして生まれたのか、インターネットを利用したさまざまなサービスについて理解を深める。		1
「コンピュータ・ネットワークを利用する上でのマナーについて」 情報の受信者、消費者ではなく、発信者としての心構えも身につける。		1
「著作権について」 文化庁のWeb 等を参照し著作権制度および著作権について最近の知識を身につける。		1
「ワープロソフトとは・基本的な利用方法」 ワードプロセッサソフトでは何ができるのか、ワードプロセッサソフトを用いるメリットについて理解するとともに、基本的な利用方法に慣れる。		1
「さまざまな機能を用いたレポート文書の作成」 ワープロソフトにはさまざまな機能が備わっている。これらの機能を実際の文章を作成しながら試してみる。		1
「表計算ソフトとは・基本的な利用方法」 表計算ソフトは何ができるのか、どのような時に利用すると有効であるか理解するとともに、基本的な利用方法に慣れる。		1
「関数の利用」 表計算ソフトに備わっている関数の概念および、よく利用される関数を実際に試してみる。		1
「グラフの作成」 データをもとにしたグラフを作成する技術を身に付ける。		1
「データの処理、並べ替え、フィルタリングなど」 表計算ソフトに備わっているデータ処理機能について学ぶ。		1
「プレゼンテーションソフトとは・基本的な利用方法」 プレゼンテーションソフトは何ができるのか、どのような時に利用すると有効であるか理解するとともに、基本的な利用方法に慣れる。		1
「プレゼンテーションをするにあたっての注意点」 資料作成の際に気をつけること、発表の際の注意事項について学ぶ。		1
「プレゼンテーション実習」 実際にプレゼンテーションを行い、課題を見つける。		1

「総合演習」 本演習で学んだ知識、演習で学んだことを再度見直す。	1
「総合演習」 本演習で利用したソフトウェアは、実生活においてどのように利用すると有効であるか考え、実際に導入してみる。	1
レポート作成、添削指導	15
	計 30
	授業単位数 2

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	文章表現	
担当教員の実務経験		
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	75 コマ	・ 5 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現の適切さ・わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点を置いて学修していく。	
授業の到達目標	文学的表現や美文調の修辞等ではなく、簡潔で明快な表現法を習得する	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	前田安正『さっちゃん！ 恥ずかしくない！ 文章が書ける』(株)すばる舎。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
レポートとは何かを知り、レポートの形式を理解する。 いま、文章力がものすごく必要になっている。仕事でも私生活でも、書く機会が増え、ビジネス上の報告書でも近年、いちだんと的確な説明が求められるようになった。三段構成のレポートを参考にして、レポートの形式をまず理解する。		1
レポートで必要とされる文章を知る(テキスト『巻末：起承転結』) 三段構成はコンパクトだが、慣れたら、もう一段ハイレベルな書き方をマスターする。代表的なのは起承転結の四段構成である。「起」立ち上げる。投げかける。「承」受け継いで、進展させる。「転」場面や話題を転じ、趣を変える。変化をつける。「結」全体をまとめる。結ぶ。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 1～5「文章の基本構造：主語と述語をしっかりと対応させる」 一つの文にいくつもの内容を盛り込むと、主語と述語が入り交じり文意が通らなくなることがある。「一つの主語に述語は一つ」を意識して、主語と述語をしっかりと対応させるようにする。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 6～10「助動詞、受身表現、読みやすい文章の特徴を知る」 読者は文を読みながら情景をイメージしていく。同様の言葉を連ねるとそれが余計な情報となって、読者は情景を描きにくくなる。また、「れる」「られる」などの助動詞は、受身、尊敬、可能と様々な意味があるので、場面に合った使い方を覚えて、読みやすい文章にする。		1
環境問題に関するDVD 鑑賞と感想文作成 温暖化は怖い、「雨が滝のように降り、傘が役に立たず、車の運転が危険になるような」1時間の雨量が50ミリ以上の「ゲリラ豪雨」が、近年の10年ごとに2割ほど増え続けている。CO ₂ の排出量から、温暖化はともなう「ゲリラ豪雨」を8年前に予測したNHKスペシャルを見て、感想文を作成する。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 11～17「文の要素や必ずしも過去を表わさない過去形を学ぶ」 一つの文にたくさんの要素を入れると、内容が交錯して言いたいことが伝わらない。書くべき要素を整理し、時間の経過も分かりやすい文章にする。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 18～20「読点の打ち方」 「。」「、」「～（とってん）」という。句点は文の終わりに付けるので、間違えることはほとんどない。ここでは文の要素を見ながら、読点をどこに打つといいか、を考える。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 21～26「『てにをは』を正しく使って文章を書く①」 主語を表すと言われる助詞「は」が「は」は必ずしも主語を表わさない。で、「は」の役割について学ぶ。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 26～32「『てにをは』を正しく使って文章を書く②」 「主題や課題の提示」を表す助詞「は」を使った文は、主題の説明や課題の解答を書かなくてはならないので、冗長になりやすい。そこで、「は」の×文の語順について考える。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 33～37「『書き言葉』と『話し言葉』を区別して、日本語の正しい書き方を覚える①」 「こそあど」とは、語の最初に「こそあど」が×指示語のことである。意味を理解して使うと、内容を端的に言い表すことができる。		1
テキスト『恥ずかしくない文章が書ける』:Lesson 38～44「日本語の正しい書き方を覚える②」 「する」と「させる」の違い、否定表現の役割、「しかし」の働き、などについて考える。		1

テキスト「恥ずかしくない文章が書ける」:Lesson 45～47「日本語の正しい書き方を覚える③」間違った敬語、間違えやすい慣用句、数字表記の基準、などについて学ぶ。	1
レポートに関するパワーポイント講義の後、ポイントを押さえてレポートを作成するレポートに関する講義の後、レポートの形式を念頭に入れて、下書きを始める。	1
文章・表現・形式を点検する レポートの下書きを完成させ、文章・表現・形式をチェックする。特に、各文章の主語と述語がしっかり対応していることを確認する。	1
レポートを自己評価する 主語と述語がしっかり対応していることを確認した後、レポートを清書し、自己評価する。	1
レポート作成、添削指導	60
	計 75
	授業単位数 5

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	保育者論	
担当教員の実務経験	保育園・認定こども園副園長経験	
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	75 コマ	5 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	保育士・幼稚園教諭の制度的位置づけ、社会的役割と必要とされる専門的能力を理解し、保育者にふさわしい資質を自ら養おうとする態度を養う。社会人としての基本的あり方、保育者の倫理観、乳幼児保育の基礎的知識・技能、保護者支援の方法、実践的学修とともに、世界的な保育の動向など幅広い視点も含め、保育の専門家としての見識を持つよう学修する。	
授業の到達目標	保育者の役割と専門性を理解したうえで、レポートおよび科目試験の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	民秋言『保育者論』建帛社。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
保育の意味(子どもを育てる二つのコースと制度としての保育)	意図的保育・教育と無意図的保育・教育。保育者による計画的働きかけによる教育と保育者をモデルとした子どもの同一視などによる社会化。	1
保育の現状理解(社会の変化と保育二ス)	現在の保護者がどのような悩みを持ち、保育の場を求めているか、それへの社会の対応など現在の保育問題について、制度の問題、行政の問題、保育現場の問題を参考資料、マスコミ情報などからまとめ、保育者の立場から今後の保育の在り方について自分なりに考える。	1
子ども観、保育観の重要性①	保育は保育者の人間性を通して行われるため、保育者の子どもの見方、保育観が重要であること、先達に学ぶことの重要性を理解する。	1
子ども観、保育観の重要性②	西欧の思想に学ぶ。現代の保育に影響を与えた思想の流れを理解し、保育観の源流、人間教育としての保育の本質と保育者の在り方を考える。ルソー、ピスタロッチ、フレーベル、オーエン等の思想と現代への家教をまとめる。	1
子ども観、保育観の重要性③	日本の思想の流れを理解する。明治以降の幼稚園保育所の制度の変遷をまとめ、キーパーソンについて理解する。中村正直、和田実、倉橋惣三、赤沢鐘美、野口幽香等	1
保育者と制度①保育者の制度的地位	我が国の保育制度をまとめ、児童福祉法に基づく保育所、学校教育法に基づく幼稚園の役割を理解する。それぞれの根拠法令、所管、目的、対象児、公的負担、行政の仕組みなどを理解する。	1
保育者と制度②保育士資格取得の要件・幼稚園教諭取得の要件	保育士資格、幼稚園教諭(1種、2種、専修)の資格、免許取得の方法、学修内容、学習課程、修得すべき専門的能力の内容を理解する。	1
保育者の役割と専門性①幼稚園教諭	幼稚園教育要領に記載されている保育目的、方針、保育者の役割をまとめ、その趣旨に即応するための保育者の資質、能力、技術を理解する。	1
保育者の役割と専門性②保育士	保育所保育指針に記載されている保育目的、方針、保育者の役割をまとめ、その趣旨に即応するための保育者の資質、能力、技術を理解する。	1
保育者の役割と専門性③保育者として望ましい資質	保育の専門家としてどのような保育の場にあっても共通に必要なとされる人間的素養(感性、判断力、応用力、共感性など) 専門的知識、専門的態度 実践技術などをまとめる。	1
保育者に求められる専門性④保護者支援	保護者支援のために必要とされる態度、知識、技能をまとめる。	1
期待される保育者①成長する保育者	保育における自己反省、カンファレンス、第三者評価、他の専門分野との連携など保育者自身の向上のための方法を理解する。	1

期待される保育者②社会のニーズへ対応	第2回で保育の現状を捉えたが、教科書を手掛かりに、我が国の子育ての現状をまとめ、と保育ニーズの現状を整理し、解決の方向(ライフワークバランス、保育の質的向上、保育制度の改正等)について考察する	1
保育者の職務と倫理	全国保育士会倫理綱領の内容を調べ保育者の職と求められる倫理とを理解する。	1
今後の保育制度の動向と保育者の在り方	新しい保育制度(認定こども園、保育教諭)についてしらべ、我が国が目指している保育制度と新しく求められる専門的役割、資質、能力をまとめる。	1
レポート作成、添削指導		60
		計 75
		授業単位数 5

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	保育の心理学 I	
担当教員の実務経験	臨床心理士として精神科病院等で実務経験有	
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	75 コマ	5 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	<p>心の機能は、感覚・知覚・認知、社会性、気質・性格、感情などさまざまな側面を見せながら、人の一生を通じて変化していく。発達も、個々に異なる様相をみせると同時に、乳児期、幼児期、学童期、青年期、成人期、壮年期、老年期などの各ライフステージにおける普遍的な特徴をもつ。</p> <p>本科目では、発達の概念および各ライフステージにおける心理及び行動の特長について学び、人間理解の基礎を培う。</p>	
授業の到達目標	それぞれの時期における発達の特徴について理解を深め、レポートおよび科目試験の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	本郷一夫『シードブック保育の心理学 I・II』健帛社。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
子どもの発達を理解することの意義 教科書pp.1-9 を通読し、発達の概念、発達を規定する要因、発達のメカニズムなどについて理解する。	1	
子ども観と保育観の変遷 教科書pp.10-19 を通読し、子ども観や保育観の変遷、それに応じた制度の変化などについて理解する。	1	
胎児期・新生児期の発達の特徴 教科書pp.20-29 を通読し、胎児期・新生児期の発達の特徴と問題点について理解する。	1	
乳幼児期の発達の特徴 教科書pp. 7 5-40 を通読し、乳幼児期の発達の特徴と問題点について理解する。特に初期経験の重要性について押さえておく。	1	
児童期の発達の特徴 教科書pp.42-49 を通読し、児童期の発達の特徴と問題点について理解する。	1	
青年期の発達の特徴 教科書pp.51-56 を通読し、青年期の発達の特徴と問題点について理解する。特に、エリクソンのアイデンティティの概念について押さえておく。	1	
成人期の発達の特徴 教科書pp.56-58 を通読し、成人期の発達の特徴と問題点について理解する。現代の成人に特有の危機や、それが子どもに与える影響についても考えてみるとよい。	1	
老年期の発達の特徴 教科書pp.58-60 を通読し、老年期の発達の特徴と問題点について理解する。老年期が発達段階の中に位置づけられているのはなぜかということも押さえておく。また、子どもと老人の理想的な関係などについても考えてみるとよい。	1	
身体・運動の発達 教科書pp.61-71 を通読し、運動発達の種類や方向性、それぞれの発達段階の運動発達の様相などについて理解する。	1	
認知の発達 教科書pp.73-81 を通読し、それぞれの発達段階の認知発達の様相などについて理解する。特にピアジェの発達理論を押さえておく。	1	
言語の発達 教科書pp.83-92 を通読し、言語発達の様相について理解する。また、子どもの言語発達における養育者の役割について押さえておく。	1	

感情の発達 教科書pp.93-102 を通読し、感情の発達の様相について理解する。また、感情の表出における問題点について押さえておく。	1
気質・性格の発達 教科書pp.103-111 を通読し、気質・性格の基本的理論について理解する。気質・性格の測定方法やその問題点についても押さえておく。	1
子どもの発達における今日的課題1 上記のテーマの中から、特にそれ以前の時代とは異なる、現代に生きる子どもの発達上の問題点について、具体的な事例を挙げながら考察してみるこ と。たとえば、遊び場や自然環境など物理的な発達環境の変化など。	1
子どもの発達における今日的課題2 上記のテーマの中から、特にそれ以前の時代とは異なる、現代に生きる子どもの発達上の問題点について、具体的な事例を挙げながら考察してみるこ と。たとえば、家族関係や養育観の変化など。	1
レポート作成、添削指導	60
	計 75
	授業単位数 5

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	人体の構造と機能及び疾病	
担当教員の実務経験	看護師経験	
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	75 コマ	5 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	近年、医学・医療に関するニーズは高まっており、医療、介護、保健、福祉といった専門的分野はもちろん、教育や一般社会組織の現場でも最低限の知識と技術が要求される。本科目では人体の構造と機能及び疾病について学修し、心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害、がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解し、日常業務で生かせる基本的な医学的知識の習得を目的とする。	
授業の到達目標	心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害等について理解を深め、レポートおよび科目試験の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』中央法規。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
イントロダクション: 命と医学・医療、医学・医療の歴史 病気とはどういうことか考え、医学と医療は何をするのか定義する。医学・医療の歴史を振り返り、将来の方向性について、終末期医療、再生医療を含めて考える。		1
心身機能と身体構造①: 人体各部の名称と機能の概要。体液・血液の性状。呼吸器系。循環器系。機能と代表的な関連疾患人体を部位別に分け、存在する各種臓器・組織の構造と機能の概略を理解する。生体活動を維持するための体液(血液を含む細胞外液、細胞内液)の恒常性、呼吸器・循環器系の相互関連を理解し、代表的な疾患を学ぶ。		1
心身機能と身体構造②: 消化器系、泌尿器系。代表的な関連疾患 消化器系(消化管、肝臓、膵臓など)の構造と機能(消化・吸収)について理解し、栄養素の機能について学ぶ。泌尿器系(腎臓、膀胱)の構造と機能から、排泄機能について学ぶ。さらに、これらの器官における代表的な疾患を知る。		1
心身機能と身体構造③: 骨格系、筋系。代表的な関連疾患 身体の姿勢維持と運動に関与する骨格系と筋系の構造と機能と学び、筋収縮の機序と関連疾患を理解する。骨および筋の運動以外の機能とその障害についても学ぶ。		1
心身機能と身体構造④: 神経系、内分泌系、生殖器系、皮膚と感覚器。代表的な関連疾患 生体内の情報伝導・伝達機能を担う神経系と内分泌系の特性と調節機序を理解する。皮膚の構造と機能について理解し、障害の発生原因について考察する。		1
疾病と障害①: 生活習慣病(がん、虚血性心疾患、脳卒中、メタボリックシンドローム) 生活習慣病の定義を理解し、メタボリックシンドロームの予防と対策について考える。悪性新生物(がん)の発症機序、リスク因子、対策について理解する。		1
疾病と障害②: 先天性疾患、周生期障害、乳幼児のリスク因子、心身の機能障害、発達障害 精子・卵子の形成、受精から出生までの胎芽・胎児の成長過程をもとに、先天奇形の原因と対策について学ぶ。乳児期の成長における栄養・刺激提示の重要性から、障害発生のリスク因子と予防策について考察する。		1
疾病と障害③: 感染症とその対策 感染、感染症を定義して、病原体の種類と特徴について学ぶ。特に、細菌とウイルスの違いを区別する。感染症発症の3原則をもとに、予防対策について考察する。		1
疾病と障害④: 精神障害、高次脳機能障害 精神障害の診断マニュアル(DSM-5、ICD-10)について、なぜマニュアルが必要なのかを含めて理解する。精神障害の分類とそれぞれの特徴、治療方法について整理・理解する。		1

<p>疾病と障害⑤: 加齢と老化(老化性疾患、認知症、生活不活発病)</p> <p>加齢を定義し、受精・分化・成長・成熟・老化について、段階ごとく理解する。高齢者に起こりやすい疾病について、身体面、メンタル面に関連するものを整理し、進化および成長との関連を含めて理解するとともに、その予防策について考察する。</p>	1
<p>疾病と障害⑥: 老化性疾患(骨粗鬆症、視聴覚障害、嚥下障害、内部障害など)</p> <p>高齢者に多い疾患(老化性疾患)のうち、身体面を中心に、原因と対策について理解する。障害、特に内部障害に含まれる症状の発症率から、障害発生の原因と対策について考察する。ICF とリハビリテーションについても理解する。</p>	1
<p>疾病と障害⑦: ストレス性疾患、免疫異常、難病</p> <p>ストレス刺激、ストレスを定義し、代表的なストレス性疾患について理解する。免疫・自律神経機能の関連から、ストレスと疾病リスクとの関連について考察する。</p>	1
<p>日本人の健康状態と寿命: 現代の健康状態、および人口統計の現状と将来人口の予測</p> <p>平均寿命の変遷、栄養状態をもとに、日本人の、現在と将来の健康状態について理解する。健康とはどういう状態なのかについて、WHO の定義の是非を含めて考察する。</p>	1
<p>健康づくり: 健康度の向上、健康寿命延長のための活動</p> <p>老化による機能低下、および健康寿命と寿命の定義を理解し、健康度上昇のための活動にはどのようなものがあるか考察する</p>	1
<p>最新の医学情報</p> <p>生きていること、また命を巡る様々な考えについて学ぶ。最新の医学・医療技術について学び、それぞれについて将来の展望をまとめる。</p> <p>総括医学・医療は何を目的としているのか、医療・福祉を施す側、施される側から、広い観点で考察する。</p>	1
レポート作成、添削指導	60
	計 75
	授業単位数 5

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	保育内容（表現）	
担当教員の実務経験	認可保育所・認定こども園副園長経験	
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	75 コマ	・ 5 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	表現を様々な角度から考え、一般的な知識を深めると同時に領域「表現」の考え方の基本について学び、保育の現場において領域「表現」を基本とする指導方法、子どもの援助活動を実際どのように進めていったらよいか理論、実践によって考察し、保育現場で実践できる力を身につける。また音楽、絵画、演劇、ダンスなどの表現方法についての基礎知識を深めながら、保育や福祉の現場等でこれらの表現を使った援助活動を実際どのように進めていったらよいかを演習形式で学ぶ。	
授業の到達目標	領域「表現」を基本とする指導方法、理論、実践を理解したうえで、レポートおよび科目試験の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	平田智久、他『最新保育講座11 保育内容「表現」』ミネルヴァ書房。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
日常生活における我々の「表現」や我が国の「表現」を様々な角度から考察し、自分なりの視点を持つ ・我が国独自の言語、造形、音楽、舞踊、運動などの表現文化について調べる。 ・日本人独特の表現や、人とのかわり方などを考える。		1
保育内容「表現」の歴史の変遷について調べまとめる ・我が国の幼稚園や保育園では、今までどのように「表現」を考えて、保育をしてきたか。その移り変わりを調べる。		1
領域「表現」のねらいと内容の意味を理解する ・現在の幼稚園教育要領・保育所保育指針における、領域「表現」の考え方はどのようなことか。領域「表現」のねらいと内容をよく読み、その考え方を理解する。		1
乳幼児の発達と「表現」の考え方について理解する ・乳幼児の「表現」の発達をどのように考えたらよいか。子ども自身が「表現」を意味づけ「表現」を広げて発達していく「表現する過程」を見る重要性を考察する。		1
子どもの豊かな感性と表現を育む環境と、現代の社会環境がもたらす子どもへの影響を考える ・子どもの豊かな感性を育む環境とはどのような環境であるか、様々な園環境を調べてみる。また、子どもの「表現」を阻む現代社会の問題にはどのようなものがあるか考える。		1
諸感覚を通しての感性と表現について、五感に働きかける重要性を理解する ・五感とはどのような働きをするか。子どもの五感を育てる環境とその実践の在り方を考え、まとめる。		1
生命に対する感性と表現について、豊かな感性を育む意味を考察する ・生命に対する感性を磨き、その表現をすることが、子どもにとってどのようなことであるか。また動植物が子どもに果たす役割も同時に考え、まとめる。		1
音・音楽に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察する ・保育現場で、子どもが豊かな音や音楽を経験するためにどのような指導方法があるか。多くの指導方法を調べて、実践できるようにする。		1
造形に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察する ・保育現場で、子どもが豊かな造形活動を経験するためにどのような指導方法があるか。多くの指導方法を調べて、実践できるようにする。		1
保育現場における保育者の表現の実践例を調べる ・保育者が保育現場で実践できる手遊び、ダンス、ペープサート、パネルシアター、エプロンシアター、おはなし、劇などを調べ、実際に自分ですることができるような種類を練習する。		1

<p>表現を育てる保育者の役割について考察する①</p> <p>・子ども自身が直接的な経験の実感をするには、日々の生活の中でどのような環境設定と指導が必要か。具体的な指導方法の一つ上げ、その方法と留意点を考察する。</p>	1
<p>表現を育てる保育者の役割について考察する②</p> <p>子どもたちが楽しみながら表現技術を身に付けるには、日々の生活の中でどのような指導が求められるか。道具(身体も含む)を使った具体的な表現技術の指導方法の一つ上げ、その方法と留意点を考察する。</p>	1
<p>領域「表現」のねらいや内容を参考に、「表現」を育む指導案を立案する</p> <p>・領域「表現」のねらいや内容を参考に、指導案を自分なりに「(環境構成)」「子どもの動き」「保育者の援助」を考えて作成してみる。(導入やまとめ、片づけなども入れて1時間程度)</p>	1
<p>保育者の表現を育む意味を考察する</p> <p>・なぜ保育者自身が自らの「表現」を育むことが求められるのか、その理由を考える。また、自分の「表現」を育むために行えることを考える。</p>	1
<p>保育内容「表現」のこれまでと今後の課題について考察する</p> <p>・保育内容「表現」の学びを振り返った上で、今後、保育者が考えるべき課題についてまとめる。</p>	1
<p>レポート作成、添削指導</p>	60
	計 75
	授業単位数 5

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	音楽			
担当教員の実務経験	ピアノ教室講師			
対象学生	保育児童福祉学科1年			
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位		
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []			
授業の概要	<p>1. 本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識と音楽理論を学び、ピアノの技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。 なお、スクーリング修了試験では、ピアノ実技試験と音楽理論の試験を行う。</p> <p>2. スクーリング修了試験「ピアノ実技試験」について</p> <p>① ピアノ実技試験では、下記A群またはB群のいずれかを選択し、該当する課題曲すべて練習し、指定された1曲を演奏する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>●A群(ピアノ初心者)</p> <p style="text-align: center;">者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35番 八長調 4/4拍子 ・37番 ㄗ長調 3/4拍子 ・39番 ㄗ長調 4/4拍子 ・46番 八長調 4/4拍子 ・49番 八長調 3/4拍子 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>●B群(ピアノ経験者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55番 八長調 4/4拍子 ・59番 八長調 3/8拍子 ・66番 八長調 6/8拍子 ・73番 八長調 4/4拍子 ・77番 八長調 3/4拍子 </td> </tr> </table> <p>② 音楽理論の試験は、筆記試験で行う。 (内容は授業計画に記載)</p>		<p>●A群(ピアノ初心者)</p> <p style="text-align: center;">者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35番 八長調 4/4拍子 ・37番 ㄗ長調 3/4拍子 ・39番 ㄗ長調 4/4拍子 ・46番 八長調 4/4拍子 ・49番 八長調 3/4拍子 	<p>●B群(ピアノ経験者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55番 八長調 4/4拍子 ・59番 八長調 3/8拍子 ・66番 八長調 6/8拍子 ・73番 八長調 4/4拍子 ・77番 八長調 3/4拍子
<p>●A群(ピアノ初心者)</p> <p style="text-align: center;">者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35番 八長調 4/4拍子 ・37番 ㄗ長調 3/4拍子 ・39番 ㄗ長調 4/4拍子 ・46番 八長調 4/4拍子 ・49番 八長調 3/4拍子 	<p>●B群(ピアノ経験者)</p> <p>『標準バイエルピアノ教則本』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55番 八長調 4/4拍子 ・59番 八長調 3/8拍子 ・66番 八長調 6/8拍子 ・73番 八長調 4/4拍子 ・77番 八長調 3/4拍子 			
授業の到達目標	基本的な音楽理論や保育現場における音楽活動について理解を深め、学習したことを実技で生かすことを目指す。			
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する			
準備学習・時間外学習	ピアノの自主練習			
使用教科書・教材・参考書	石橋裕子、他『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』北大路書房。 楽譜：『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。			
授業上の注意点				
授業計画（内容）		コマ数		
○スクーリングにおける学修内容と科目終了試験について 本科目の概要を理解する。特に、2冊の教科書である『標準バイエルピアノ教則本』(以下、「バイエル」と略記)および『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』(以下、「音楽表現」と略記)を活用しながら、理論と実技を体験的に学び終了試験に備える。		1		
○バイエル35番、または55番 35番：開始位置に注意。拍子を意識して、4分音符の拍の刻みが揺れないよう気を付けて練習すること。 55番：右手をなめらかに、左手はそれを妨げないようにレガートに弾くこと。特に、4小節目左手の音域移行をスムーズに。		1		
○バイエル37番、または59番 37番：開始位置に注意。3拍子の流れに乗って3拍目から1拍目に戻るときに間があいてしまわないように。 59番：左手の分散和音型伴奏形に慣れること。17小節目から左手のポジション移動と分散和音の変化に注意。		1		
○バイエル39番、または66番 39番：37番と開始位置は同じ。特に左手がスムーズに弾けるようよく練習すること。最後の2小節は左右をしっかり揃えて。 66番：右手はスラーによるまとまりを意識してやわらかく、左手の分散和音は粒を揃えてなめらかに弾くこと。		1		

<p>○バイエル46番、または73番 46番:右手はなめらかに、4拍子が揺れないよう左手の4分音符をしっかりと刻むこと。8小節目右手のタイも拍がずれてしまわないよう注意すること。 73番:右手のミ・ド・シ・レという旋律が聴こえるように。7小節目の半音進行の指使いに注意。</p>	1
<p>○バイエル49番、または77番 49番:左手の主要3和音の分散形による伴奏(ドミノ、シレソなど)を意識して練習するように。これらの伴奏形をしっかり理解できるとその後の弾き歌いにおけるコードネームの理解へとつながっていく。 77番:3拍子をしっかりと意識して弾くこと。小節ごとに左右交互に出る8分音符が均一になるように。中間部の臨時記号にも注意。</p>	1
<p>○ピアノ個人レッスン ○音楽理論1「五線譜の読み方」*「音楽表現」pp.2-5 五線の線と間、音部記号と大譜表、小節・縦線・終止線、音名、変化記号、派生音について理解する。</p>	1
<p>○ピアノ個人レッスン ○音楽理論2「音符・休符、リズム・拍」*「音楽表現」pp.5-12 音符や休符の種類と名前と長さ、拍子と拍子記号、リズムについて、具体的な譜例を通して理解する。</p>	1
<p>○ピアノ個人レッスン ○音楽理論3「さまざまな用語と記号」*「音楽表現」pp.12-26 強弱記号、速度記号、発想記号、奏法上の記号、反復記号、音程について、具体的な譜例を通して理解する。</p>	1
<p>○ピアノ個人レッスン ○音楽理論4「音階と調」*「音楽表現」pp.26-29 長音階と短音階、長調と短調、調号、移調、転調について、実際に五線紙に書きながら理解する。</p>	1
<p>○簡単な伴奏での弾き歌い *「音楽表現」pp.58-61 「メーさんのついで」の左手は全小節とも単音伴奏で、トまたはホのみ。「ロンドン橋」は重音伴奏。 「シングルベル」の左手は2小節ごとの同音型の繰り返しの曲。右手は、いずれも旋律を弾く。前奏はいずれも最後の2または4小節を弾くとよい。ゆっくりでもよいかから弾き歌いに努めること。</p>	1
<p>○コードネームによる和音伴奏での弾き歌い *「音楽表現」pp.62-78 コードネームについて知り、「かえるの合唱」や「ちよちよ」「きらきら星」などを、コードネームを見ながら和音や分散和音による伴奏型を工夫しながら弾き歌いに挑戦する。「むすんでひらいて」「手をたたきましょう」「チューリップ」などは「ささま」「山の音楽家」「線路は続くよどこまでも」などから好きな曲を選んで練習すること。</p>	1
<p>○レポート設題に向けて 設題にある「わらべうた及び明治期、大正期、昭和初期、戦後のそれぞれの時期に作曲された子どもの歌の中から1～2曲ずつを取り上げ、それらの歌の特徴について、歴史的背景に触れながら考える。</p>	1
<p>○スクーリング修了試験に向けて 「バイエル」のA群・B群の課題曲(5～6曲)の中からそれぞれ指定された1曲を練習すること。</p>	1
<p>○科目終了試験に向けて 音楽理論の筆記試験に向けてのまとめ。</p>	1
	計 15
	授業単位数 1

授 業 概 要

秋田社会福祉専門学校

科目名	図画工作 I	
担当教員の実務経験	絵画教室主宰、絵画教室講師、芸術家	
対象学生	保育児童福祉学科1年	
授業時間数・単位数	30 コマ ・ 2 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	<p>造形教育を通しての教育は、子どもたちの創造性や個性・情操をバランスよく養うなど、望ましい人間的な資質の形成に深くかかわっている。本講義においては、造形教育の目的の理解と併せて保育内容(表現)や図画工作科の内容を理解し展開するために必要とされる多様な材料体験や造形表現体験を通して造形表現活動の経験を豊かにし、造形教育において必要な基本的な知識や技術を体験的に理解し習得する場とする。</p> <p>また、本講義においては、多様な材料経験や造形における基礎的な実習等、指導者として求められる豊かな造形表現活動の体験に主眼をおく。</p>	
授業の到達目標	造形の技法や活動方法について理解を深め、レポートおよび科目試験の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	科目終了試験の成績及び出席状況により総合的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	花篤實、他『新造形表現 実技編』三晃書房。	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
第1章 実技研修の構え		1
1 実技研修と幼児造形表現の指導 過去の作品制作体験を振り返ってみる		1
2 テキストを使っでの実技体験 科目概要を念頭に置きながら、教科書を参考にしつつ興味のあることに取り組むこと。 ※スクーリングにおいても実技を行う。		1
第2章 実技研修の方法		1
1 材料経験 『事例a～q(pp.18-34)』について興味のあることに取り組んでみよう。 ①様々な成果を記録し保管しておこう。		1
②「このようにしなければいけない」という決まりはないので、自分で工夫しながら楽しむことを大切にしよう。		1
2 造形遊び 『事例a～k(pp.39-50)』について興味のあることに取り組んでみよう。 ①様々な成果を映像や写真も含め記録し保管しておこう。 ②「このようにしなければいけない」という決まりはないので、自分で工夫しながら楽しむことを大切にしよう。		1
③様々な環境の中でそれを生かし工夫しながら取り組むこと。		1
3 かく 『事例a～l(pp.53-64)』について興味のあることに取り組んでみよう。 ①自身の絵描き経験に照らし合わせながら幼児の絵の理解してみよう。 ②自由にのびのびと楽しむことを大切にしながら取り組むこと。 ③様々な成果を記録し保管しておこう		1
4 つくる 『事例a～g(pp.66-82)』について興味のあることに取り組んでみよう。 ①様々な素材の特性を活かしながら自由に表現すること。 ②安全面に配慮すること。 ③様々な成果や工夫点について写真や映像等も含め記録し保管しておこう。		1
第3章 総合活動と製作 『事例a～k(pp.84-106)』について興味のあることに取り組んでみよう。 ①様々な素材の特性を活かしながら自由に表現すること。 ②安全面に配慮すること。		1

③様々な成果や工夫点について写真や映像等も含め記録し保管しておこう。	1
幼児教育に果たす幼児造形教育の役割について考えよう。 ポイント: 幼児の心とからだ、感性にどのような影響を与えるか。大人の役割とは。	1
「造形遊び」における材料の果たす役割について考えよう。 ポイント: 何を学び経験してもらおうのか。材料から導き出されるものとは。	1
題材開発する場合の留意点について考えよう。 ポイント: 何を学んでもらい、どのようなサポートを心がけるか。	1
レポート作成、添削指導	15
	計 30
	授業単位数 2